

## 第 7 回会議の開催趣旨と議論内容（論点）について

## 1. 開催趣旨

- ・ 第 6 回会議（10/5）後、一部委員から、会議運営が方針 2～4 などの新たな視点に寄っており、方針 1 に関する深掘りが十分でない旨の懸念が示された。
- ・ 特に、方針 1（産業の基盤強化）については、条例理念の実現に向け重要かつ中心をなすものであることから、議論時間および議論密度を十分に確保するべく、改めて、この点に焦点を当てた議論をいただくべく、会議を開催する。

## 2. 議論いただきたい内容例（論点メモ）

基本的方針 1「区民生活を支える多様な地域産業の持続性の確保に向けた基盤強化を図る」について、下記のような観点から議論をいただきたい。

- ・ 「地域経済の持続可能な発展」に向けて、世田谷産業の中心をなす既存産業は、どのような方向に向かうべきか。地域経済の活性化や世田谷の地域産業／既存産業の活力の最大化を図るには何が必要か。
- ・ 区はどのように後押しすべきか。政策や助成はどうあるべきか。 関係機関や事業者はどのように協力すべきか。
- ・ 各既存産業の抱える特に重要な課題やニーズは何か。横断的な課題は何か。 その根本にある本質的なものは何か。解決に向けてどのような対応や手段／手法が考えられるか。
- ・ 域内消費喚起や分配（所得向上、雇用維持等）の向上に向けて、何が必要か。 行政は何をすべきか。団体や事業者はどう貢献できるか。

## &lt;個別の政策課題（例）&gt;

- ・ 生産性向上（販路拡大、設備投資 等）
- ・ 倒産の増加、廃業の増加、事業承継、世代交代
- ・ 人材確保、人手不足、人材育成
- ・ IT、DX への対応
- ・ 企業誘致
- ・ 空き店舗の増加、物流インフラ・通信インフラ 等
- ・ 中間支援組織（公社、産業団体、金融機関）による支援 等

## &lt;議論の参考としての例示&gt;

- ・ 様々な施策を実施したが課題解決に至っていない。課題は何か。解決に向けた仕組みや手段はどうあるべきか。
- ・ 施策が知られていない。どう周知や情報発信すべきか。団体との連携強化や受け取る側からの視点からどう考えるか。
- ・ 世田谷で事業したくなる／働きたくなるには、どのようなインフラ整備が必要か。等